

# 森林インストラクター東京会

Home

Forest Instructor Tokyo 頭文字をとって FIT(フィット)と呼ばれています

山笑(やまにこ)会主催、季節の花と景色を楽しむハイキング

## 小仏川遊歩道で春の妖精を探す早春の裏高尾ハイキング

2019年3月8日(金) 晴れ

コース：高尾駅～小仏川遊歩道～蛇滝～4号路～高尾山頂～3号路～ケーブルカー高尾山駅

毎年3月は、日影沢でハナネコノメやコチャルメルソウを楽しむハイキングを実施してきたが、今年は混雑するバスへの乗車を避けて、高尾駅から直接歩き出すコースにした。高尾駅北口バス停奥の広場で開会式を行い、コース説明・安全注意・準備体操をしてから出発。山笑(やまにこ)会最初のイベントがスタートする。

住宅地の間を抜け国道を通り、ネコヤナギのふわふわ花芽を観察して小仏川遊歩道に入る。明日から梅祭りが開催されるとあって、紅白の梅が満開。かぐわしい梅の香り漂う遊歩道を歩いて春を満喫するが肝心のスプリングエフェメラルはなかなか見つからない。ジロボウエンゴサクやコチャルメルソウ、キバナノアマナは葉っぱだけで蕾もない。

高速道路下で陽だまりに咲くアオイスミレを見つけ、花卉の後ろの距が立っているのをしっかり観察する。蛇滝までの道では、ハナネコノメが1ヶ所だけ咲いていた。白いがく片に雄蕊の赤い葯が映えて可愛い！ニリンソウは蕾が膨らみピンク色に染まっている。ヨゴレネコノメは汚れた色のままでまだ花の周りが黄色くならない。

蛇滝で休憩中にお客様が太陽の周りにきれいな虹がかかっていることに気が付かれた。単なる日暈の現象かと思っていたら、当日の夜、写真と現象の正体情報を送って頂いた。「カフンコウカン」現象で、空中に飛散する花粉が原因で太陽の周りに光の環ができる現象のこと。写真には、三重の環が出来ていて黒い樹木の幹と枝の間に光の環が写っていて幻想的。



赤い葯が映えるハナネコノメ (写真廣川)

4号路の深山橋で、フサザクラの真っ黒な芽鱗と開き始めたがくも花弁もない花を観察する。雨上がりの斜面ではいっぱいの子グリスを観察。足を広げたタコ坊主のようで、頭を押すとスミではなく茶色の胞子が飛び出し、お客様は童心に返ったように交代で頭をつついていました。

高尾山頂では快晴の青空と真っ白な富士山がお出迎え。左手の丹沢山塊も昨夜の雪で真っ白。昼食休憩の後、山頂標識の前で登頂記念写真を撮り、4号路を通して再び春の妖精を探す。

一つだけ咲き出したシュンラン。黄色い蕾がほころび出したダンコウバイ。ヤマネコノメソウやヤマドリソウ、タチツボスミレ、ミヤマシキミの雄花の蕾、シキミの花、キジョランの蕾とアサギマダラの幼虫など、春の妖精だけでなく、早春の花木や虫なども探して楽しむ。

ケーブルカー高尾山駅入り口の広場にほぼ予定の時間にゴール。体操、安全確認、お客様の感想を聞いて解散。「普段歩かないコースを歩けて楽しかった」「春の妖精を楽しめた」「色々な植物の説明を楽しめた」の感想を頂く。時期が早くて見つけた妖精は少なかったが、天気とお客様に恵まれ、山笑(やまにこ)会最初のハイキングが無事終了。感謝！

参加者：34名

スタッフ：稲葉 力、久保雅春、廣川妙子(安全)、槇田幹夫(幹事、報告)





開会式：今月から山笑（やまにこ）会です



観察：距が立っているアオイスミレ



ようやく見つけたアオイスミレ



頭をつつかれてしぼんだツチグリ



高尾山頂：真っ白な富士山がお出迎え



珍しい現象「花粉光環」(お客様撮影)



黄色い小さな花のヤマネコノメソウ